

児童養護施設における職員の資質の向上への取り組み「第二報」 — 児童養護施設における福祉の人材育成 —

飯 田 和 也
横 川 聖
藤 田 哲 也

【はじめに】

前回の研究では、児童養護施設における職員の資質の向上への取り組み「第一報」として学園の現状と課題を通して児童養護の今後を探るという研究でした。今回は続きとして実習にかかわる学生への意識調査をまとめたい。

児童福祉施設における保育士や指導員の資質や能力によって乳幼児への影響が問われる。ただ乳幼児の命を護り、病気にさせないというだけで日常を過ごすことではない。乳幼児の情緒の安定を図り、その上で「生きる力」を育てることが重要なことはいまでもない。施設における人材育成は保育士養成校や短大、大学の実習生を受け入れることで現場体験を通して人材を育てることも重要と言える。

今回の研究は、短期大学における施設実習での学生への指導と施設実習の現場における実習生への意識調査を通して授業で教わったことと実際の実習とのズレ、実習を実施する以前の意識と実習を通して変化があったかと言うことを把握し、考察を進めたい。このような研究を通して児童養護施設と養成校や大学との連携についても課題を見つけ検討したい。

① 短期大学における施設実習の目的や目標、内容などについて

短大・大学では、実習を開始するまでに修得した、あるいは修得しつつある様々な教科の知識や技術を基礎として、児童養護施設の実習を通して総合的に関連づける力と実践するときに自分なりに応用することができることを身につける場として大切にしている。また、乳幼児や障害児・者を取り巻く様々な環境や養育された現状理解する場としている。さらには、児童養護施設での実情や

指導員や保育士の実態を把握し理解する体験を通して保育者としての生き方にかかわることを求め、保育科の学生として人間的にも高めることを大切にしている。

教育実習や保育所実習と異なり家族と離れ、一人または集団で宿泊実習をすることが多い。そのため自分自身の生き方を見つけ将来に生かす体験も重要と考えられる。

実習の目標 柳城の施設実習指導のお願いの資料より

- 1 児童養護施設の役割や機能を理解する。
- 2 乳幼児、障害児・者、入所者の生活や活動を支える保育者の役割を理解する。
- 3 保育者としての自分自身を分析し、今後の課題を認識する。
- 4 理論がどのように展開され、具体化できるかを学び、今後の学習課題を明確にする。以上のような資料を児童養護施設に配布し協力を得ている。

このように保育者として乳幼児をとらえるだけでなく、施設での保育者・指導員の活動を理解しその働きを通して自分の「生きる力」に参考となる体験も重要となる。

実習の内容では、事前訪問に始まり、見学・観察・参加実習という段階で展開され、宿泊実習が原則になっている。児童養護施設の特色として、幼児から思春期までの幅広い年齢の子どもたちに対しての理解と養育する場として施設での生活や入所にいたるまでの経過や境遇、家族のかかわり、将来の生活などについて理解することである。また、施設長、児童指導員、保育士、栄養士、調理員などのかかわりについての基本的理解も大切といえる。これらに対して事前訪問、見学観察実習、

参加実習を通して入所児童について、どのような意見交換があり、指導がすすめられているかを体験させることに視点がおかれている。

② M 学園における実習生への指導内容

児童養護施設で生活している中学生、高校生が「なぜ実習生は来るの。ここは僕達、私達の生活の場なのに。」と尋ねてくる。児童養護施設の実習と保育園、幼稚園実習との大きな違いは、児童養護施設は子ども達の生活の場であるということである。子ども達にとってのプライベートな空間である。家庭で生活している子どもも児童養護施設の子とも、学校や幼稚園ではよそいきの顔をする。外での人間関係、環境に合わせるように気を遣い行動する。しかし児童養護施設は、子ども達が外から帰ってきて息が抜ける場、安心できる場、落ち着ける場である事が求められる。しかし実際の児童養護施設では、どんなに小規模であっても、そこには集団生活がある。職員も含めて他人との共同生活がある。子ども達一人ひとりを親が愛情をかけるように大切にす気持ちでかかわりを持つが、簡単に意思疎通等出来るわけではない。

実習を始める前の実習生に話をす内容に、児童養護施設で生活している子どもは、自分から希望して施設生活をする子はほとんどいない。誰もが親の愛情を充分受けて生活したいと望んでいるが、それがかなわないというのが現状である。子どもが甘えたい対象の親から充分の愛情をもらえなかったり、また虐待を受けたりして、大人に対しての不信感を持っている。ですから私達大人との関係もゼロからのスタートではなく、マイナスからのスタートだと言える。子どもとの信頼関係は一日や2日で出来るものではなく、日々の生活を共有しながら、笑い、泣き、悩み、苦しみ、感動を通してお互いの距離を縮めていくことから始まる。

最近では虐待を受けて児童養護施設で生活している子どもは半数を超えた。新しく入所してくる子どもの約八割が虐待のケースである。虐待を受けてきた子どもは施設で生活が始まれば、命の保障、生活の安定は出来るが、しかし心の傷を癒し、自分らしさを取り戻し、信頼がすぐに回復するわ

けでない。虐待されている期間が長ければ長いほど、その傷を癒すのに時間がかかる。虐待を受けてきた子どもは特に、大人を見る感性が研ぎ澄まされている。その日の親の機嫌や表情、態度、雰囲気によって自分に被害が及ぶかどうかという経験をしてくている。こうした子ども達と関わるとき、子どもは私達大人の言葉に反応するよりも、雰囲気や態度、表情に反応する事が多い。他人が自分の生活空間に入ってくることに対しての拒否感を持つ子ども、また逆に優しく関わってくれる大人に対してどこまで自分を受け入れてくれるのかのためし行動をする事も多い。こうした子ども達へのかかわりに戸惑う事がある。しかし、常に明るい雰囲気、笑顔で子どもと関わることを基本とする。不安や緊張はあって当然である。実習は期限が決まっいて、苦しくとも辛くても、実習が終わる時期がくれば施設から離れる。しかし施設での生活が始まる子ども達は、いつ自分の家に帰れるのかもわからない状況である。実習を始めるときの不安感、緊張感を体験する事を大切にす。その中でどんな言葉が嬉しいのか、どんな対応が心強いのか、どんな助言指導が有効なのかを実感する事が今後の成長につながる事を伝える。

M 学園における実習生の受入は、子ども達が自ら進んで施設入所にいたることのない現状の中で、M 学園の理念であるキリスト教の精神である隣人愛をもとに、子ども達がこの施設に来て良かった。M 学園の職員と出会って自分が救われた。また将来への夢や希望が持てるようになった。自分が困難に出会ったときに乗り切ろうとするエネルギーが湧いてきた。子どもの幸福を心から願ひ、M 学園では子どもが主人公であり、職員はそのよき理解者であり、応援者であることを大切にしている。こうした理念を基本とし福祉の将来を担う人材を育てることは社会的責務の一つだと考える。学校の講義の中の内容を実際の現場実習という形で体験することにより、児童養護施設を正しく把握してもらおう。そこで生活している子どもは、家庭環境に恵まれないということはあるが、特別な子どもではないという事を頭で理解する事に加えて実感してもらおう事を大切にす。だから児童養護施設で生活する子ども達には「施設生活やみんなの頑張りを正しく理解してもらい、学園

の先生になってもらうための大切な機会だよ。」と説明する。

M 学園における具体的な実習内容

① 事前オリエンテーション

事前オリエンテーションでは、M 学園においての実習マニュアルに基づいて実習の目的、受け入れる側の気持ち、施設の概要について実習担当者より説明をする。入所状況、入所理由、子ども達の年齢構成、部屋割り等、子ども達の状況も具体的な説明をしながら実習に対しての心構えについて話をする。

② 実習の実際

児童養護施設は、子どもの年齢が2歳から18歳までという幅広い年齢層の子ども達が生活している。その子ども達との関わりは当然、発達に応じた助言指導が必要になってくる。M 学園では幼児期、小学校前期、小学校後期から高校生までの3つのブロックに分けた担当すべてを体験してもらうことにしている。子ども達の発達は一概に年齢によってのみでははかれないが、短期間になってしまうが、どの年齢の子ども達との関わりも体験してもらう。また食生活の大切さという事を理解してもらう事を目的として炊事の業務も体験してもらい、食事作り、自分が作ったものを子ども達と一緒に食べてみての、子ども達の感想や表情を実感してもらう体験もしてもらう。ひとつの担当が短いため深く掘り下げての実習にはならないが、全体を把握してもらう事を目的としている。

③ 反省会

実習開始時に全体の受入会を行い、再度実習に対しての心構えを園長より伝える。子ども達には全体が集まる場で実習生を紹介しそれぞれ自己紹介をしてもらう。実習中は担当する期間が短いため、毎日その日配属になったブロックの担当者による反省会を行う。その日の疑問や悩みをその日のうちに解決、理解できるように助言指導している。そして最後実習終了時に全体の反省会の中で、最終的な質疑応答を行い、実習を通しての反省、感想を報告してもらい、実習の意味の確認と今後の学生生活においての取り組みについて指導を行

う。

1 実習生のアンケート調査について

<実施目的>

将来学生が『児童養護施設で働きたい』と言った時に、どんな雰囲気子どもが生活しているか職員の役割はどう言ったものかを知るために施設実習がある。

施設実習の学生の目的は、単位取得のためとか、将来の就職活動に役立てるとか様々であるが、本当に児童養護施設での就職を願っている学生には、短い時間の中で良さも苦しさも伝えていきたいという思いはある。学生がどんな目的で施設実習を行い、どんな事を知りたいのか、子ども達に関わってみてどんな事を学んだのかなど、学生のニーズを知る事が、充実した施設実習の実施につながっていくのではないかと考えアンケート調査を行った。

<実施アンケートについて>

対 象：学園で施設実習を行った学生対象

大学生 4 名 短大生 47 名 計 51 名

実施期間：平成 17 年 4 月 1 日～

平成 18 年 8 月末まで

実施時間：実習最終日の反省会後

アンケート内容と選択肢

実習生に対するアンケート

* 目 的

今回の実習お疲れ様でした。児童養護施設での実習はいかがだったでしょうか？授業で教わった事とは、また違った見方もあったように思います。

今回の実習を通して感じた事、思った事などアンケートをさせていただく事で、学生の皆様に今後どのような施設実習を展開していくかの参考にさせていただきたいと思います。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

《はい・いいえ》や《a. b. c. d》など選択肢の書かれてあるところには、当てはまるものを○で囲んでください。

1～3位まで順位をつける質問は、大変そう思うと言う選択肢から順に3つを選んでください。分からない事があれば、担当職員にお聞き下さい。

【子どもの様子について】

1. 実習する前と現在では、子どもの印象は変わりましたか？ 《 はい ・ いいえ 》
2. 《1で『はい』と答えた方》どのくらい変わりましたか？
a. 大変よくなった b. よくなった
c. 変わらない d. 悪くなった
e. 大変悪くなった f. その他（ ）
3. 《1で『はい』と答えた方》どんなところが変わりましたか？
(1. 2. 3.)
a. 健康面 b. あいさつ
c. (食事の)好き嫌い d. 勉強面
e. 運動面 f. 性格 g. その他（ ）
4. 実習前、入所している子どもに対してどのような印象がありましたか？
a. かわいそう b. 淋しそう c. 苦しそう
d. 楽しそう e. 嬉しそう
f. その他（ ）

【施設について】

5. 実習する前は、施設に対してどんなイメージを持っていましたか？
(1. 2. 3.)
a. 暗い b. 冷たい c. こわい
d. 明るい e. 温かい f. 優しい
g. その他（ ）
6. 現在、施設に対してのイメージは変わりましたか？ 《 はい ・ いいえ 》
7. 《6で『はい』と答えた方》どのように変わりましたか？
(1. 2. 3.)

- a. 暗い b. 冷たい c. こわい
d. 明るい e. 温かい f. 優しい
g. その他（ ）

【職員について】

8. 現在、職員に対してのイメージは実習前と変わりましたか？ 《 はい ・ いいえ 》
9. 《8で『はい』と答えた方》どのように変わりましたか？
(1. 2. 3.)
a. 暗い b. 冷たい c. こわい
d. 明るい e. 温かい f. 優しい
g. その他（ ）

【オリエンテーションについて】

10. 事前オリエンテーションは分かりやすかったですか？ 《 はい ・ いいえ 》
11. 《10で『いいえ』と答えた方》どんな所がわかりにくかったですか？
(1. 2. 3.)
a. 養護に関する説明 b. 日課の説明
c. 行事の説明 d. 子どもの処遇
e. 実習生の心得 f. 宿泊施設について
g. 施設の方針 h. 施設の歴史
i. 施設の説明 j. 持ち物について
k. その他（ ）

12. 事前オリエンテーションで、もっと教えて欲しかった事がありますか？
《 はい ・ いいえ 》
13. 《12で『はい』と答えた方》どんな事を教えて欲しかったですか？
a. 養護に関する説明 b. 日課の説明
c. 行事の説明 d. 子どもの処遇
e. 実習生の心得 f. 宿泊施設について
g. 施設の方針 h. 施設の歴史
i. 施設の説明 j. 持ち物について
k. その他（ ）

【実習について】

14. 実習中に辛いと感じた事がありますか？
《 はい ・ いいえ 》
15. 《14で『はい』と答えた方》どんな事が辛いと感じましたか？
(1. 2. 3.)
a. 洗濯や掃除等の業務 b. 子供との会話
c. 子供との遊び d. 職員の助言
e. 食事 f. 勉強会 g. 朝マラソン
h. その他 ()
16. 実習中に喜びや楽しさを感じた事がありますか？ 《 はい ・ いいえ 》
17. 《16で『はい』と答えた方》どんな事に喜びや楽しさを感じましたか？
(1. 2. 3.)
a. 洗濯や掃除等の業務 b. 子供との会話
c. 子供との遊び d. 職員の助言
e. 食事 f. 勉強会 g. 朝マラソン
h. その他 ()
18. 実習中（職員に）して欲しい援助は何かありますか？ 《 はい ・ いいえ 》
19. 《18で『はい』と答えた方》どんな援助をして欲しいと思いましたか？
(1. 2. 3.)
a. 子供の声かけ b. 問題行動への関わり
c. 日課について d. 子供の誉め方
e. 子供の叱り方 f. 業務について
g. その他 ()
20. 実習を通して、自分自身が変わったと思ったことはありましたか？
《 はい ・ いいえ 》
21. 《20で『はい』と答えた方》どんな所が変わったと思いますか？
(1. 2. 3.)
a. 食生活 b. 社会性 c. 協調性
d. 職業観 e. 施設への見方

- f. 福祉への考え方
g. 子供への声のかけ方
h. その他 ()

【反省会について】

22. 反省会は振り返りの良いきっかけになりましたか？ 《 はい ・ いいえ 》
23. 反省会の中で、自分の意見や思いは言えましたか？ 《 はい ・ いいえ 》
24. 《23で『いいえ』と答えた方》なぜ言えなかったのですか？ (1. 2. 3.)
a. 職員の聞く態度 b. 職員の話す態度
c. 決め付けられた言い方 d. 反省会の場所
e. 職員の落ち着きがない雰囲気
f. 職員の言葉のきつき
g. その他 ()

【その他】

25. 施設や職員に望む事は何ですか？
(自由記述)
26. 実習に来る前は、どのような気持ちでしたか？
(1. 2. 3.)
a. 不安 b. 辛い c. 恐ろしい
d. 厳しそう e. 嬉しい f. 楽しそう
g. 楽そう h. その他 ()
27. 今回の実習で、児童養護の職員になりたいと思いましたか？ 《 はい ・ いいえ 》
28. 《27で『はい』と答えた方》どのような所に魅力を感じましたか？ (自由記述)
29. 《27で『いいえ』と答えた方》どのような所に魅力を感じませんでしたか？ (自由記述)
30. 今回の実習で何を学びたかったですか？
(1. 2. 3.)
a. 入所理由 b. 子供の様子
c. 職員の様子 d. 職員の連携
e. 子供と職員との関わり

- f. 地域と学園の関わり g. 施設の方針
 h. 施設の歴史 i. 施設の説明
 j. 施設的环境
 k. 関係機関（学校・病院・公的機関等）との関わり
 l. 職員の守秘義務 m. 親子関係
 n. 特になし o. その他（ ）

31. ご意見、感想等ありましたらお書きください。
 （自由記述）

どうも、ありがとうございました。答えにくい質問もあったかと思いますが、実習生さん意見を聞くことが、職員の取り組みにもつながりますし、今後の施設実習のあり方を考えていく部分では大変参考になると思います。

今回書いていただいた内容は、集計し職員に伝えていきたいと思いますが、プライバシー保護の為、個人名や個人に関する情報は一切公開しないことを約束いたします。

<結果と考察>

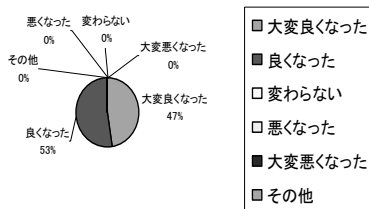
【子どもの様子について】

1. 実習する前と現在では、子どもの印象は変わりましたか？ 《 はい ・ いいえ 》



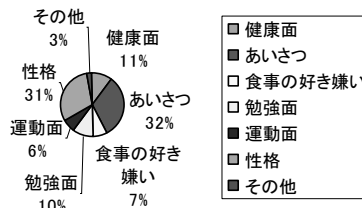
2. 《1で『はい』と答えた方》どのくらい変わりましたか？

- a. 大変よくなった b. よくなった
 c. 変わらない d. 悪くなった
 e. 大変悪くなった f. その他（ ）



3. 《1で『はい』と答えた方》どんなところが変わりましたか？

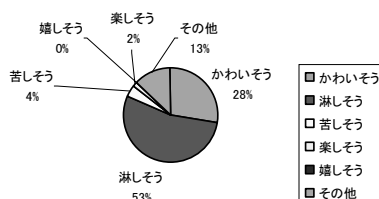
- (1. 2. 3.)
 a. 健康面 b. あいさつ
 c. (食事の)好き嫌い d. 勉強面
 e. 運動面 f. 性格 g. その他（ ）



- * 大きい子が小さい子をかわいがるところ
- * 態度が変わった
- * 学校の話をするようになった
- * 反応が変わってきた

4. 実習前、入所している子どもに対してどのような印象がありましたか？

- a. かわいそう b. 淋しそう c. 苦しそう
 d. 楽しそう e. 嬉しそう
 f. その他（ ）

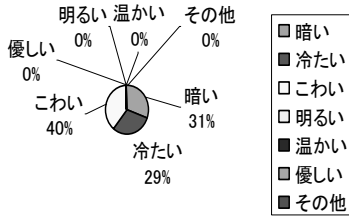


- * どんな生活をしているかと思っていた
- * 荒れてそう
- * いろんな事をがまんしている
- * 楽しそうではない

【施設について】

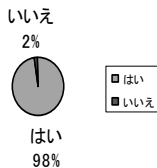
5. 実習する前は、施設に対してどんなイメージを持っていましたか？

- (1. 2. 3.)
 a. 暗い b. 冷たい c. こわい
 d. 明るい e. 温かい f. 優しい
 g. その他（ ）



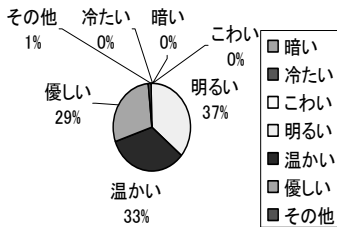
* 教育の機関としての役割が強い
 * 決まりがたくさんあって厳しそう

6. 現在、施設に対してのイメージは変わりましたか? 《 はい ・ いいえ 》



7. 《6で『はい』と答えた方》どのように変わりましたか?

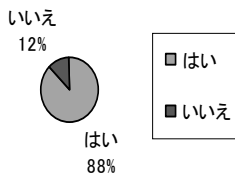
- (1. 2. 3.)
 a. 暗い b. 冷たい c. 怖い
 d. 明るい e. 温かい f. 優しい
 g. その他 ()



* 家庭に出来るだけ近づけた環境

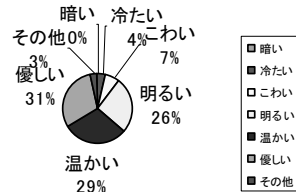
【職員について】

8. 現在、職員に対してのイメージは実習前と変わりましたか? 《 はい ・ いいえ 》



9. 《8で『はい』と答えた方》どのように変わりましたか?

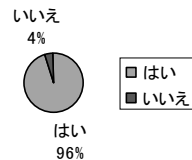
- (1. 2. 3.)
 a. 暗い b. 冷たい c. 怖い
 d. 明るい e. 温かい f. 優しい
 g. その他 ()



* 熱心で真剣である
 * 子どもの事を常に気にかけている
 * やさしいが時に厳しさもある

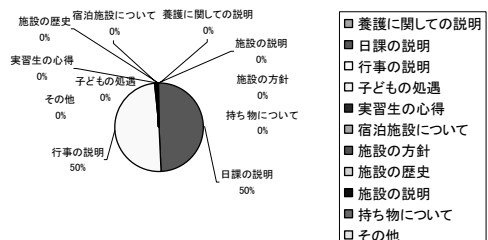
【オリエンテーションについて】

10. 事前オリエンテーションは分かりやすかったですか? 《 はい ・ いいえ 》

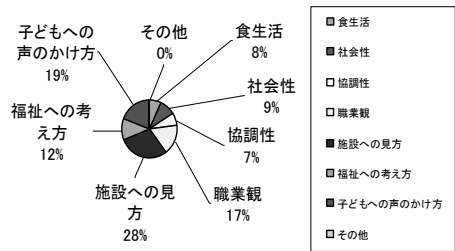
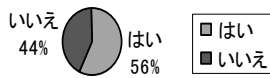


11. 《10で『いいえ』と答えた方》どんな所がわかりにくかったですか?

- (1. 2. 3.)
 a. 養護に関する説明 b. 日課の説明
 c. 行事の説明 d. 子どもの処遇
 e. 実習生の心得 f. 宿泊施設について
 g. 施設の方針 h. 施設の歴史
 i. 施設の説明 j. 持ち物について
 k. その他 ()

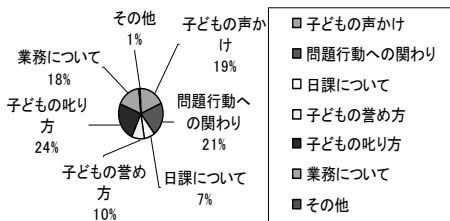


18. 実習中（職員に）して欲しい援助は何かありますか？ 《 はい ・ いいえ 》



19. 《18で『はい』と答えた方》どんな援助をして欲しいと思いましたか？

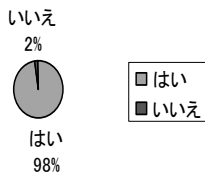
- (1. 2. 3.)
- a. 子供の声かけ b. 問題行動への関わり
c. 日課について d. 子供の誉め方
e. 子供の叱り方 f. 業務について
g. その他 ()



* 融通をきかせる範囲

20. 実習を通して、自分自身が変わったと思ったことはありましたか？

《 はい ・ いいえ 》

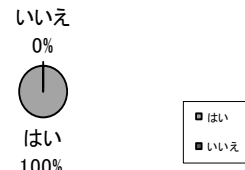


21. 《20で『はい』と答えた方》どんな所が変わったと思いますか？

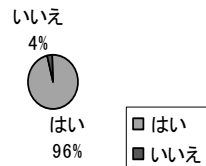
- (1. 2. 3.)
- a. 食生活 b. 社会性 c. 協調性
d. 職業観 e. 施設への見方
f. 福祉への考え方 g. 子供への声のかけ方
h. その他

【反省会について】

22. 反省会は振り返りの良いきっかけになりましたか？ 《 はい ・ いいえ 》

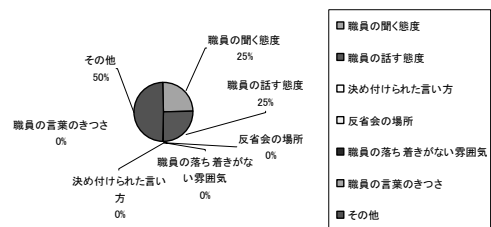


23. 反省会の中で、自分の意見や思いは言えましたか？ 《 はい ・ いいえ 》



24. 《23で『いいえ』と答えた方》なぜ言えなかったのですか？

- (1. 2. 3.)
- a. 職員の聞く態度 b. 職員の話す態度
c. 決め付けられた言い方 d. 反省会の場所
e. 職員の落ち着きがない雰囲気
f. 職員の言葉のきつさ
g. その他 ()



* 緊張して言えなかった

* 実習生一人一人に反省会をして欲しかった

【その他】

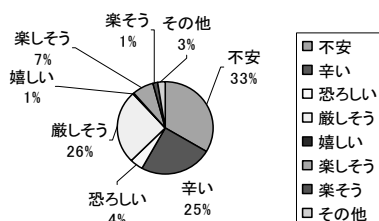
25. 施設や職員に望む事は何ですか？

- * 各先生によっておっしゃる事が違っていたりするので、合わせて欲しいと思います。
- * 時間が自由にならないのは分かりますが、門限が6時半と言うのは早すぎて少しかわいそうだと思います。
- * 子ども達のおこづかいを増やして欲しいです。
- * これからも子ども達の力になって欲しい。
- * ケンカの時の声のかけ方なども、その時に教えてもらいたかった。
- * 実習生にケンカがあったからこういう接し方や態度をとった等の説明と、こんな事が嬉しかった等の説明。
- * 前日の反省会で教えていただいてすぐに無理なのは承知の上ですが、クラスが変わって担当職員が変わってしまうと、それまでその子にとっての担当職員は学園の中で一番信頼できる人だと思うので担当は持ち上がりの方が子どもにとっては安心でき、精神上も良いと思いました。
- * 年齢の割にはすごく素直で優しい子どもばかりなので、これからもこう言う子育てをして欲しい。
- * 先生方が数人おっしゃったのですが、本当に大きい子どもでも、すごく甘えたがる子どもも多くいたのでこれからも先生方の愛情を子ども達に与えて欲しいと思いました。

26. 実習に来る前は、どのような気持ちでしたか？

(1. 2. 3.)

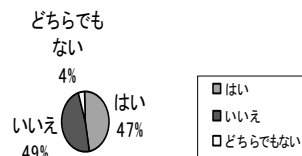
- a. 不安 b. 辛い c. 恐ろしい
d. 厳しそう e. 嬉しい f. 楽しそう
g. 楽そう h. その他 ()



- * 緊張していた
- * 頑張ろうと思った

* 子どもたちに出会えると言う期待

27. 今回の実習で、児童養護の職員になりたいと思いましたか？ 《 はい ・ いいえ 》



- * まだわからないです。就職範囲が広がりました。
- * 幼稚園実習もしてからと思っているので考え中です。

28. 《27で『はい』と答えた方》どのような所に魅力を感じましたか？

- * 子どもの事を本当に思っている先生方がいる事、子ども達の笑顔に魅力を感じました。
- * 保育園とは違い寝るまで子ども達と一緒にいれる所。
- * 幼児だけでなく、様々な年齢の子ども達と関わる事ができ楽しかった。
- * 子ども達と触れ合う中で辛いと感じた事もあったが、嬉しい事もたくさんありました。
- * アットホームなところ。
- * 子どもの成長が見られるところ、子どもの苦しみなども味わうが、笑顔に出会う事ができる所。
- * 子どもと一緒に過ごす事で、いろいろな表情が見ることができるから。
- * 選択肢の一つには入れたいと思います。たくさん子どもと関われ一緒に入れて楽しかった。
- * 子ども達から信頼されている先生方を見て、私もなりたいと思いました。
- * 子ども達の成長を身近で感じ、一緒に喜ぶことができ、信頼関係が深く築けている。
- * 保育所に比べ、永い時間をかけて子どもと向き合って共に成長していける点。
- * 子どもとの関係を作る中で、『家族』と言う感覚を作りたいから。

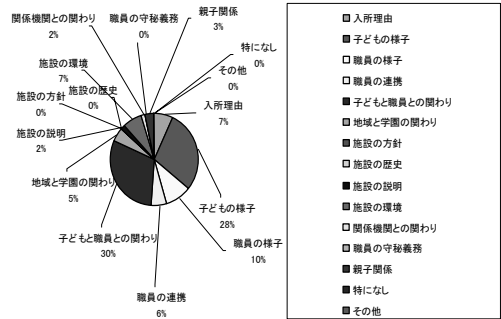
29. 《27 で『いいえ』と答えた方》どのような所に魅力を感じませんでしたか？

- * 幼児から学童と言う幅広い年齢層の中で実習をしてみて、暴言などに対する対処がとても難しく関わり方に答えが見つからず実習生としての一歩後ろの職員としてでしか接する事ができなかったため。やりがいのある仕事なので、興味は持ちました。
- * 私は学童さんと関わったり幼児さんと関わったりする中で、やはり幼児さんと関わる仕事に就きたいと思いました。学童さんとの関わりが難しかったです。
- * 子ども達の親代わりのような仕事は出来ないと思ったからです。
- * 実習をしてみて複雑な状況で育ってきた子ども達の思いを受け止め、今いる職員の方々の様に関わっていけるのかと思ったからです。
- * 子ども達と生活(家族として)していくとなると、私が先生でいいのかなと不安になり、自分にはできないような気がしました。
- * 魅力を感じなかったのではなく、幼稚園教諭になりたいと思う気持ちが強いから。
- * 保育園で働きたい。
- * 休みがあまりなさそうなのと生活が毎日決まっっていて大変そうに見えました。
- * 仕事は子どもとたくさん関わってやりがいがあるように感じましたが、勤務体制が大変そうだと思います。
- * 魅力を感じたが、私は子どもに金銭感覚を教えることができないと思った。
- * ケンカや誰かにきつい言い方をしている時は、なかなか間に入っていきませんでした。
- * 自分には向いていない気がします。
- * 大変そうだし、自分の時間がないから。
- * 責任の重さと子どもの関わりに対する不安。

30. 今回の実習で何を学びたかったですか？

- (1. 2. 3.)
- a. 入所理由 b. 子供の様子
 - c. 職員の様子 d. 職員の連携
 - e. 子供と職員との関わり
 - f. 地域と学園の関わり g. 施設の方針
 - h. 施設の歴史 i. 施設の説明

- j. 施設の種類
- k. 関係機関(学校・病院・公的機関等)との関わり
- l. 職員の守秘義務 m. 親子関係
- n. 特になし o. その他()



31. ご意見、感想等ありましたらお書きください。(自由記述)

- * 毎日実習終了後に反省会を開いていただいたのは本当に勉強になりました。1日を振り返り質問をする機会をたくさん与えてくださり、職員の方々がどうしてそのような態度を取ったのかと言うわけも理解でき翌日には反省を生かして実習できました。1週間本当にありがとうございました。
- * 毎日の反省会では疑問がすぐに解消する事ができ、関わり方のステップアップのためにも大切でした。
- * 正直に言うと、とても辛く長かったのですが、子どもたちの関わり方を考えると短かったです。ご丁寧な指導ありがとうございました。
- * 初めて施設実習をさせて頂いて戸惑う事や辛い事もたくさんありましたが、日にちが経つにつれて子どもとのコミュニケーションも取れてきてとても良い実習になりました。反省会で教えていただいた事や実習で学んだ事を活かしてこれからも頑張りたいと思います。
- * 一週間のうち前半はとても辛いと思いました。様々な年齢の子ども達が、集団の中で生活していて、それぞれの子どもにどう関わればいいのかなかなか分かりませんでした。でも今になると「さみしい」と言ってくれる子がいて1週間頑張れて良かったと思います。

- * 良い経験になりました。この実習を終え、児童養護施設で働きたいとますます強く思いました。また機会があれば、乳児院での実習をしたいと思います。
- * 10日間色々ご迷惑をかけたと思いますが、ありがとうございました。辛いと感じた事もありましたが、子ども達と離れることが寂しいです。
- * 初めての实習だったので、不安な事もたくさんありました。子どもとどう接していいのか困った事もありました。でも子ども達にも助けてもらいながら楽しくできたと思います。
- * M 学園での6日間はとても楽しく充実していたと思います。子ども達も優しくこのまま学園にいたいと思いました。今もこれで終わってしまうなんて、本当に考えたくないほど離れがたいです。M 学園のあたたかい雰囲気大好きです。いつまでもこのあたたかい雰囲気いっぱい学園であって欲しいです。
- * 中学生・高校生の子が幼児さんをあやしたり、一緒に遊んでいる姿を見て、よっぽど自分より保育が上手いなあと感心させられました。連絡会からもれてくる笑い声などから、職員関係の良さを感じました。
- * とても楽しくて明るい所でした。一人ひとりが心に傷をおっているのに、私達に優しくしてくれて嬉しかったです。
- * 施設の流が把握でき、とても良い経験になりました。
- * 6日間の実習は始まる前本当に不安でした。暴言を吐かれたり、叩かれたり、無視されたらどうしようと不安がたくさんありました。しかしみんな聞いたら必ず答えてくれて、担当になったら話をすることも普通にでき、自分の想像とは全く違いました。指しゃぶりなど無意識にしているものを見ると、やはり寂しいのかなと思うこともありました。でも、そのような子に対してはこう言う一面もあると受け止め、楽しいと思えるようにたくさん遊びました。と感じました。
- * 実習で職員の方と子ども達が、とても強い信頼で結ばれていると感じました。
- * 笑顔が溢れ返っていて、毎日が充実している

と思いました。

- * 10日間実習してきて、子ども達も先生もとてもやさしくて安心しながらも、楽しくできました。
- * 今回とても貴重な体験をさせていただきました。初め入所している子ども達は、虐待を受けている子が多いと聞いたので、どの様に接していけばいいのか不安でしたが、何も変わらない元気な子ども達の姿を見て、施設がどのような場所なのか改めて学ぶ事ができました。この仕事にも興味が持てたので、将来の参考にしたいです。
- * 分からない所など質問した時にわかりやすく説明していただきありがたかったです。
- * 9泊10日の実習をやって先生方と子どもの信頼関係がとても強いことに驚きました。また、先生方が子ども一人ひとりに目を向けていたのでさすがだと思いました。

どうも、ありがとうございました。答えにくい質問もあったかと思いますが、実習生さん意見を聞くことが、職員の取り組みにもつながりますし、今後の施設実習のあり方を考えていく部分では大変参考になると思います。

今回書いていただいた内容は、集計し職員に伝えていきたいと思いますが、プライバシー保護の為、個人名や個人に関する情報は一切公開しないことを約束いたします。

<考察>

【子どもについて】

1~4の設問については、子どもに対しての印象を聞いている。実習する前と現在の子どもの様子はどの様に変わってきたか、どんな印象だったかと言う問いに関しては、98%が実習する前と後の印象が変わったと言っている。変わったと言う印象が良くなったのか悪くなったのかは、47%が大変良くなった、53%が良くなったと答えている。一般家庭で育ってきた子どもとはかなり違ったイメージを持っている事が多い事が読み取れる。施設入所と聞いて、『寂しそう(53%)、かわいそう(28%)』と言った感覚が上位を占めていた。

大学や短期大学、専門学校ではどんな教育がな

されているだろうか？どちらかと言うと、陰の様な印象を与える講義が多いのではないか。その講義の印象そのものが実習生にそのまま影響され、暗いイメージがついてしまう。もっとも現場を知っている先生方が教えているならともかく、現場を全く知らない先生が教えた子ども達の様子は、ひょっとしたら偏っているのかもしれない。

実習前にオリエンテーションを行うが、そこでは子ども達の表情に直接触れることは少ない。最も、子どもがいない平日の午前中に行うことが多いからだ。オリエンテーション時に、VTR などを使って、子ども達の動きや表情を伝える事も大切な学習だと感じる。子どもの現状をどれだけリアルに伝えられるか……個人情報との関係も関係してくるが、施設と学校が連携していく大切な項目である。

【施設について】

子どもに対する印象が陰へ傾いているために、施設（ハード面）に関しての印象もやはり暗いイメージが多いようだ。5～7は施設についてのイメージである。実習を続けていく中で、そのイメージも払拭されていくのが良く分かる。最初は『こわい（40%）、暗い（31%）、冷たい（29%）』とどちらかと言うと暗いイメージである。建物自体、30年程経っている施設のためと言う意味もあるが、かわいそうな子どもが住んでいると言うイメージが先行していれば、無理もないような気がする。そんな第一印象から、『明るい（37%）、温かい（33%）、優しい（29%）』と言うイメージに変わっていている。また、大舎制と言う施設の形態の中でも、『家庭にできるだけ近づけた環境』と言う意見もあった。大勢で生活している以上、施設と言う雰囲気自体抜けることができないかもしれないが、出来るだけ家庭の雰囲気が出せるように、創意工夫を怠ってはならないと思う。

【職員について】

8、9は職員のイメージについてである。やはり実習前と後では職員のイメージは優しい（31%）とか温かい雰囲気だった（29%）とかと言う意見が多かった。少数ではあったが、厳しい、こわい（4%）と言う意見もあった。

【オリエンテーションについて】

10～13はオリエンテーションについてである。実習生には事前に来園してもらい、事前オリエンテーションとして施設の概要を説明していく。予め、児童養護施設については講義などで学習してきているが、現場に出るための大切な一歩なのである。内容については分かりやすかったと感じてくれる人がほとんどで（96%）あった。

しかし、アンケートをとる中で職員が説明しなくてもいいだろう…と言う感覚が違っていた事を気付かされる。子どもの処遇に関して教えて欲しい（29%）と言うのもあったが、例えば、実習生は幼稚園や保育園の実習を終えてくる人が多い。それらの実習では生活を見るわけではないので、実習が終わり次第自宅に帰る事ができる。しかし施設実習の場合は、生活そのものが実習であるため、宿泊実習は当然の事である。実習生にとっては初めての宿泊がとても不安で仕方ないと言う。宿泊施設の詳しい説明も必要であったし、そこに対する配慮も必要であった。オリエンテーションの時間も1時間～2時間ほどなので、伝えるところも限られてくる。

施設では大体1ヶ月に1度は行事があるため、その行事に関してもっと知りたい（9%）や、日課についてもっと知りたい（15%）と言う意見も多かった。机上のパンフレットを使った説明が多いため、VTRなどの利用や分かりやすい資料の提示など工夫が必要である。

また、学園の1日の流れの中で、援助の方向性を示す事も大切に思う。方針や方向性が伝わってなければ、子どもを見る視点のズレが職員と実習生の中で出てきてしまう。指導員や保育士、事務や調理員がそれぞれの立場で、どの様な役割をもって接しているかを伝える事も必要である。

【実習について】

14～20までは実習自体に関する質問である。初めての実習で楽しいことばかりではない。辛かったと感じた人が（85%）を占める。実際に現場では初日から自分の力の無さや、自分の力の限界に気付かされる場面に立ち会うことも多い。辛かった事の内容は子どもとの会話（34%）が一番多かった。異性の子どもとはやはり関係が取り辛いよう

だ。また、施設は食事の時、お祈りの時は必ず正座をしなければならない。そう言った学生にとって非日常的な体験が辛かったと言う意見もあった。逆に喜びや楽しさを感じた人は（100%）ですべての人が実習の際には苦しさの中に喜びや楽しみを実感している。

18、19は職員にして欲しかった援助についてである。主に子どもとの関わり方についてが多かった。実習の反省会の時にもよく出てくる質問だが、ケンカをしたときどの様に介入してあげればいいのかわからない、こう言う表現の時は何て答えればいいのか分からないと言った質問が多かった。

20の実習を通して自分が変わったかと言う質問に関しては、何かしら自分自身が変わった（98%）と感じる実習生が多かった。日課が決まっている施設の生活はともすれば、自由な大学生活にメリハリを与えることになるのかもしれない。食生活（8%）や生活習慣を規則正しいものにするきっかけになったり、施設への見方（28%）や福祉への考え方（12%）職業観（17%）など、実感できた学生がみられた。その実感こそが、実習生自身の成長につながったと思われる。

【反省会について】

21～23は反省会についてである。1日の実習が終わったあと、各ブロックごとに担当職員と一緒に反省会を行う。今日1日の反省と分からなかった事、聞きたいことなどを時間が許す限りはなしをする。その反省会で本音が語れない。自分で思った事が語れないと言う実習生がいた（4%）。緊張して言えなかったと言う意見もあったが、この結果を見ても職員の課題もあった。聞く態度（25%）や話づらい雰囲気、聞いてはまずいかなと言う感覚を自然と植えつけているのではないか。聞き上手と言う言葉があるが、子どもにも大人にもそんな雰囲気を大切にしていきたいと思う。反省会では実習生に対してのチェックも行う。準職員として何が足りなくて、何が必要なのかを実習生の目や手になって教えていく必要があった。実習生を教育していくことは子どもを教育していくことにつながっていくのである。

【その他】

24は自由記述で施設や職員に望む事を聞いている。子どもの生活で学生の感覚と合わない事（お小遣いが少ない、門限が早い……）をどうにかできないかと言う要望があった。子ども達から様々な要望もあったり、変えて欲しいと言う意見もあったので、できるだけ希望要望に答えられるように努力している。しかし、門限に関しても子どもへ対する凶悪事件が横行している中、大切な子どもを預かっている以上は責任もあるし、生命を守る事が1番であると感じる。部活やアルバイトがある場合を除いてはできるだけ早く帰って一緒に食事が食べられる場面を大切にしていきたいと感じている。

25は実習に来る前はどの様な気持ちだったかを聞いている。生活の中に入っていくために不安（33%）や緊張が多いと思う。それは、施設入所が決まった子どもも同じ感覚なのである。不安、寂しいなどある程度自立できている学生でさえ不安な気持ちが多いのであるが、子どもにすればそれは想像できないほどの気持ちになるのである。そんな不安定な気持ちの中で生活を送る子どもの気持ちを考えながら、職員として何ができるのかを考えていく必要があるのではないかと考える。26は実習を終えて、児童養護施設の職員になりたいかどうかである。なりたい（47%）と言う理由となりたくない（47%）と言う理由も後の質問において、魅力を感じたか感じなかったかと言う質問で聞いている。

27この仕事に魅力を感じた部分は、生活を共にできることや子どもと一緒に成長できる場所などやりがいを感じてくれたのではないか。また、信頼関係を作っていく上でこんな関係になってみたいと言う憧れの部分もあった。

逆に28では魅力を感じなかった所に関して聞いてみた。子どもと一緒に生活する事が、自分の生活を犠牲にしてもできないと言った意見や思春期の子どもとの関わりに関する難しさなど実習を通して自分がこの仕事に向いていないと感じたと言う意見もあった。

29では今回の実習で何が学びたかったか…いわゆるこのアンケート自体の核心部分に触れた質問である。子どもと職員の関わり（30%）、子ど

もの様子 (28%)、職員の様子 (10%)、とあったが、施設の説明や環境、地域との関わりや関係機関との関係など、学びたいことは施設内部の状況にとらわれず、それを取り巻く社会も含めた学習のニーズがみられた。

30 は自由記述で感想や意見は次のような内容でした。どの実習生も、最初は不安であったが、慣れてくるにつれて楽しくなってきた、思い出に残った実習になったと言う回答が見られた。

やはり、現場を体験するのは実習生にとって何よりも勉強になるようである。就職を考える上で参考になったり (4%)、職業観が広がって刺激になるのが理解できた。

何より、自分自身の成長につながっていったように思う。苦しい事ももちろんあったと思うが、それをクリアするために必死になって考えて実行する、失敗したら関わりに工夫してまた実行する。そんな感覚が、子どもを成長させ同時に自分自身を成長させるのが施設実習の体験である。

【今後の課題】

* 施設の特徴を活かしたオリエンテーションの実施

施設の特徴は机上の説明のみならず、分かりやすさ、理解しやすさを追求したものを考えた

い。VTR を取り入れたり、写真や映像を見せていく中でより分かりやすく感じやすい工夫をする必要がある。

* 方針、援助のあり方など分かりやすい説明

反省会などで、関わりについての職員の意見の違いも出されていた。施設として何を大切に、どんな養護を目指しているか、方針を明確にしてどの職員も説明ができるような体制作りをしていく必要がある。

* 職員はいつも子ども達に笑顔で元気よく接していただけるだろうか……。アンケートでも職員について“こわい”と言う印象を与えていた。それを感じ取っているのは実習生だけでなく、大人の顔色に常に敏感な子ども達である。厳しさばかりではなく、優しさも両方兼ね備えていなければいけないプロなのである。

* オリエンテーションの際、各職員がチームを組んで具体的な方針、支援内容を伝えていくことが必要である。

* 実習生反省会の時、対応や関わり方が一貫したものでありたい。実習生の中での問題点をあらわなおし対応策を考えていく必要があるのではないか。実習生に対して、更に効果的な実習プログラムの見直しの必要がある。

Program to Improve the Staff of Welfare Institution for Children

Iida, Kazuya*

Yokogawa, Kiyoshi**

Fujita, Tetsuya**

今回は施設実習を行なう実習生への意識調査を通して実習前と後の意識の違い、子どもへの援助のあり方、職員へのイメージ、反省会での関わり方を調査した。実習前の暗いイメージが実習後には明るくなっている。又、職員に対しても優しいとか温かいイメージに変化している。実習そのものでは、辛いという意識、けんかなどへの対応の不安を持っていた。しかし、自由記述では、施設への就職希望が見られた。また、実習を通して自分自身の生き方を見直している。実習から学習意欲を持った学生もみられた。大学での講義やオリエンテーションにて子どもへの具体的な対応や施設説明がより学生に理解できる内容の連携が求められる。施設の課題として実習生に対してさらに効果的な実習プログラムの見直しの必要がある。

キーワード：施設実習, 意識調査, 実習プログラム, 子どもへの対応

*Nagoya Ryujo (St. Mary's) College

**Muginoho Children's Home